

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成25年1月8日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

発 表 事 項

1. 山形大学の行動計画『結城プラン2013』
2. 世界初！検査機器用途向け特殊有機ELパネルの開発と製品試作に成功
3. 「社会人基礎力をみがく」全体発表会を開催します
4. 『大学入試センター試験』取材に係るお願い

お 知 ら せ

1. 理学部物質生命化学科 亀田恭男教授、溶液化学研究会学術賞を受賞
2. つばさプロジェクトシンポジウム
「東日本広域「FD ネットワーク”つばさ”」の新たな挑戦」の開催
3. やまがた夜話 山形と映画 ～映像から見る山形のこれまで、これから～ 開催

(参 考)

次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成25年1月22日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

平成25年1月8日
山形大学

山形大学の行動計画『結城プラン2013』

山形大学のアクション・プランとして「結城プラン2013」を作成しました。「結城プラン2008」から数えて、6回目のものとなります。

1. 「結城プラン2013」は72課題を掲げました。
「結城プラン2012」は65課題のうちの85%を達成。
未達成課題への再チャレンジも含め、72の課題を提示。
2. 課題の例
社会体験を通じた学習意欲の向上を目指し、新入生に対し公募型インターンシップに挑戦するための新規授業を基盤教育として開講します。(教育 - PLAN2)

日常的な学生への連絡や学生の安否確認に対応するため、学生とのメールによる連絡網システムや出欠情報収集システムの構築をはじめ、不測の事態発生時の連絡システム等の整備に取り組みます。(学生支援 - PLAN5)

研究成果に基づく事業化を推進し、有機デバイス関連産業の県内集積促進と更なる国際拠点化を図るため、有機エレクトロニクスイノベーションセンター及び蓄電デバイス開発研究センターの効果的な支援体制を確立します。(研究 - PLAN7)

山形大学の「知」の資源が山形県民や関連機関及び民間企業で有効に利活用され、山形大学との社会連携が円滑かつ効果的に行われるために、小白川キャンパスに「山形大学社会連携センター」を設立します。(社会関係 - PLAN6)

現在の海外オフィスのほかに、海外の協定大学の中から、複数学部で国際交流が可能な大学を3校程度選定し、新たな海外オフィスを設置します。(国際交流 - PLAN2)

学生が主役の活気ある大学運営を更に推進するため、経営協議会と学生代表との懇談会を実施します。(総務 - PLAN1)

「山形大学男女共同参画基本計画」に基づき、研究継続支援員制度等により女性研究者の支援を継続するとともに、子育て支援策として小白川キャンパスに保育所の設置を進めるなど、全教職員のワークライフバランスの実現を目指します。(総務 - PLAN6)

山形大学安達峰一郎研究プロジェクトの積極的な展開により、安達峰一郎博士の業績を明らかにするとともに、その時代の国際政治・外交史・国際法の研究を推進します。(総務 - PLAN9)

研究費の適正使用に関連して、昨年モニタリングで把握した科学研究費補助金の入金前における予算執行に関する課題に対応するため、採択された研究に支障がないように、全件に対して資金を立て替える制度を構築します。(財務 - PLAN5)

山形大学における歴史的・学術的資料を展示するため、事務局棟1階に「大学資料館(仮称)」を整備します。(施設 - PLAN5)

なお、結城プラン2012からの継続課題として、

3ギガ電子ボルト級の放射光施設の東北地方への設置を目指します。(研究 - PLAN6)

重粒子線による最先端がん治療施設の附属病院への設置を目指します。(医療 - PLAN4)

3. 山形大学全体で改革を計画的・継続的に実行していきます。
「結城プラン2013」を全教職員のほか在学生及び全新生に配布。
本学ホームページの「学長室だより」で公開。
12月に達成状況を検証し、その後の大学運営に反映させます。

(お問い合わせ)

山形大学企画部 企画課 荒木

(TEL) 023 - 628 - 4190

結城プラン2013

Yamagata University Keeps Innovation Plan 2013

学 生 が
主 役 の
大 学 創 り



国立大学法人 山形大学

平成25年1月8日
山形大学

世界初！ 検査用途向け特殊有機ELパネルの開発と製品試作に成功

山形大学有機エレクトロニクス研究センターの城戸卓越研究教授の研究グループは、検査機器向けの特殊有機ELパネルの開発と製品試作に成功した。城戸教授が先導し、山形大学・山形県・県内企業において、産官学が連携し、特殊有機ELパネルの開発と、さらに、小さいサイズから大きい製品サイズまでの試作を段階的にこの約3年間でを行い、有機ELでしかできない世界初の検査機器用途むけの特殊有機ELパネルの開発に目途をつけた。

1. 背景と意義

城戸教授らは、これまで有機ELに関する基礎研究から、応用、実用化研究を行ってきており、これまでもディスプレイや照明用有機ELを開発してきた。また、有機ELの光源としての応用展開も図っており、有機ELでしかできない付加価値の高い用途開拓、実証試験、試作品製作もすすめてきている。今回の検査機器用有機ELパネルの製品化の意義は有機ELの市場拡大ばかりでなく、工業製品製造における検査行程を大幅に簡略化できる点で非常に大きい。

2. 経緯と開発の概要

東北経済産業局 戦略的基盤技術高度化支援事業（サポーターイングインダストリー支援事業）（『外観検査用産業用ロボットを高度化する画像処理組み込みソフトウェアの開発と事業化』）で、インテリジェント・コスモス研究機構の管理の下、宮城県内のバイスリープロジェクト（検査ソフト）、引地精工（検査ロボット）、東北大学（プログラム開発）で事業を、この3年間推進してきた。このなかで、特殊有機ELパネルの開発と大きな製品サイズまでの試作が重要な鍵であった。戦略的基盤技術高度化支援事業よりオーガニックライティングをとうした依頼で、山形大学の城戸教授が特殊有機ELパネルの開発に着手した。

先ず平成22年度に、山形大学にて特殊なスリット状の電極構造を有する最適な素子構造・発光色での小さいサイズでの有機ELの試作（80x70mm 山形大学）をおこない、この小さいサイズでの開発と試作、また、実証試験に成功した（平成22年度）。これを城戸教授が先導し、オーガニックライティングが関係機関を取りまとめ、山形県産業技術振興機構 産官学連携有機エレクトロニクス事業化推進センターが大きいサイズでの試作（145x145mm）と実証（平成23年度）を、東北パイオニアが大きいサイズでの量産ラインでの製品試作（145x145mm）と実証（平成24年度）を行った。量産ラインで作製された製品サイズでの第一段階の実証試験の成功を受けて、バイスリープロジェクト、引地精工が外観検査用産業用ロボットとしての市場導入の検討を開始することになった。

3. 今後の予定

1月16 - 18日インターネプコンジャパン（東京ビックサイト）にてバイスリープロジェクト、引地精工が展示発表する。

（お問い合わせ）

山形大学有機エレクトロニクス研究センター

研究プロジェクト支援室 電話：0238-26-3590

補足資料

バイスリープロジェクト株式会社 引地精工株式会社 資料からの抜粋



:ロボット / 特殊有機EL
パネル取り付け

:特殊有機ELパネル

:検査用ロボット全体

:検査対象部品

平成24年1月8日
山形大学

「社会人基礎力をみがく」全体発表会を開催します

大学1年生から始めます

「社会人基礎力」とは大学はもちろん社会で活躍するためにも必要な力。
今年度新たに開設した授業「社会人基礎力をみがく」の成果を発表します。

日時 平成25年1月10日(木)13:00～16:10

会場 山形大学小白川キャンパス基盤教育2号館222教室

主催 「社会人基礎力をみがく」全体発表会実行委員会

内容 「社会人基礎力をみがく」ことを目的として進められてきた7つの授業を受講した学生の代表がそれぞれのテーマについて発表を行います。そのあと、参加者の皆様から投票していただき、7つの中から最も優れた発表を決定します。会の運営も学生が主体的に行います。

各クラスのテーマ

- 「歴史のうそ？ほんと？を見わけよう 大河ドラマを題材に」
- 「展示をつくる 浮世絵の魅力を伝えよう」
- 「現代社会について考える」
- 「より良い・楽しい大学・大学生活」
- 「音速・光速をはかる」
- 「日本文化論・日本文学・学力観・メディアリテラシー・大震災と東北」
- 「わかりやすいプレゼンテーションとは？ 生命科学」

(お問合せ先)

「社会人基礎力をみがく」全体発表会実行委員会
実行委員長 白幡 瑛
担当教員 佐藤 琴
電話番号：023-628-4181
e-mail：koto-s@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp

社会人基礎力をみがく全体発表会



今大学生に

求められているもの…

それは社会人基礎力!!

「社会人基礎力」を
テーマに異なる7つの分野の
発表が聞けます!

社会人基礎力を開花させる
チャンスです!!!!

□ 開催日時

H25/1/10(木) 13:00~16:10

基盤教育2号館222号室

□ 場所

□ 参加方法

事前予約不要・当日13:00までに教室に来ていただければ結構です。

参加費無料・服装自由・筆記用具持参でお願いします

□ 主催・問い合わせ先

社会人基礎力をみがく全体発表会 実行委員会

代表 白幡瑛 教員 佐藤琴

koto-s@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp

社会人基礎力をみがく全体発表会 開催のお知らせ

今大学生に求められているもの・・・

それは**社会人基礎力**！！！！



社会人基礎力とは・・・

「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」を指します。

- この発表会では「社会人基礎力」をテーマとした異なる7つの分野の発表が聞けます！
- そしてあなたの一票で最優秀プレゼンが決まります！！

開催日時・場所

平成 25 年 1 月 10 日 (木) 13:00 ~ 16:10 基盤教育 2 号館 2 2 2 号室

参加方法

事前予約不要・当日 13:00 までに教室に来ていただければ結構です
参加費無料・服装自由・筆記用具持参をお願いします

社会人基礎力を開花させるチャンスです！！！！



各クラスのテーマ

- 「歴史のうそ？ホント？を見分けよう 大河ドラマを題材に」
- 「展示を作る 浮世絵の魅力を伝えよう」
- 「現代社会について考える」
- 「より良い・楽しい・大学生活」
- 「音速・光速をはかる」
- 「日本文化論・日本文学・学力観・メディアリテラシー・大震災と東北」
- 「わかりやすいプレゼンテーションとは？ 生命化学」

全体発表会当日の日程

- 12:30 ~ 13:00 受付
- 13:00 ~ 13:10 開会式
- 13:10 ~ 15:30 発表
- 15:30 ~ 16:10 閉会式・最優秀プレゼンの発表



主催・問い合わせ先

社会人基礎力をみがく全体発表会 実行委員会

実行委員会 代表 白幡瑛 教員 佐藤琴

koto-s@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp

平成25年 1月 8日
山 形 大 学

平成25年度大学入試センター試験の取材について
- センター試験の円滑な実施にご協力をお願いします。 -

大学入試センター試験の取材につきましては、別添「平成25年度大学入試センター試験の取材についてのお願い」のとおりとしますので、取材される場合は期限までに各試験場の連絡先に連絡願います。

小白川地区試験場での当日の撮影取材に当たっては、次のことについて特に留意願います。

- 1 1月19日(土)9時5分からの試験室撮影取材をされる場合は、インフォメーションセンターに8時55分までにお集まり願います。
- 2 車で入構される場合は、南門から入り、所定の報道関係者用駐車場(別紙小白川地区試験場駐車場配置図を参照してください。)に駐車してください。
なお、正門は受験生の入構のため、車等の乗り入れは禁止となっております。

平成25年度大学入試センター試験の主な変更点につきましては、別添「平成25年度大学入試センター試験の取材についてのお願い」の裏面をご参照ください。

(お問い合わせ先)
インフォメーション・マネジメント部入試課
今野
電話 023(628)4141

平成25年度大学入試センター試験の取材についてお願い

- センター試験の円滑な実施にご協力をお願いします。 -

山形大学

1 報道関係の窓口

報道関係者への対応は、本学の試験実施本部の広報担当者が行いますので、試験に関する問い合わせ等については、エンロールメント・マネジメント部入試課長（023-628-4140(直通)）へお願いします。

2 試験場での取材

試験場での取材は、あらかじめ許可を得てください。

取材の際は、各社記者証を提示し、腕章等で報道関係者であることを明示してください。

3 試験室内での撮影

試験室内での撮影は、1月19日(土)のみとし、試験場責任者の指定する職員の立会いのもとで行ってください。

(1) 大学入試センター試験の撮影については、1月17日(木)正午(厳守)までに各試験場責任者の了承を得てください。

・小白川地区試験場責任者 ... 小白川キャンパス長

(連絡先：小白川キャンパス事務部教務課学務担当 023-628-4405(直通))

・工学部試験場責任者 ... 工学部長

(連絡先：工学部入試担当 0238-26-3013(直通))

・県立鶴岡中央高等学校試験場責任者 ... 農学部長

(連絡先：農学部学務担当 0235-28-2808(直通))

・県立新庄神室産業高等学校試験場責任者 ... 東北芸術工科大学入試部長

(連絡先：東北芸術工科大学入試課長 023-627-2011(直通))

(2) 1月19日(土)は、午前8時55分まで報道関係者控室等に集合してください。

(3) 撮影は、試験場責任者が指定した試験室でのみ許可することとします。

(4) 撮影時間は、午前9時5分から10分以内とします。

必ず午前9時15分には退室してください。

(5) 撮影に当たっては、受験者に動揺を与えないよう注意するとともに、試験場責任者の指定する職員の指示に従ってください。

(6) 受験者が特定できるような撮影は、絶対に避けてください。

(7) 本学が指定する試験室以外の「試験室」及び「試験室のある建物」への立ち入りはできません。

4 障害等のある受験者の取材

障害等のある受験者の取材については、あらかじめ本人の了解を得る必要がありますので、試験場責任者の指示に従ってください。

5 不測の事態発生時の取材について

不測の事態が発生して、試験が中止された場合などにおいても、必ず試験場責任者の指定する職員の指示に従ってください。

- 6 当日の試験実施状況()は、以下の時間にエンrollment・マネジメント部入試課から報道各社へFAX送信予定ですので、円滑な試験実施のため、試験時間中の問い合わせはご遠慮ください。
発表時間はあくまでも予定ですので、あらかじめご了承ください。

区分	1月19日(土)			1月20日(日)			
科目	地理歴史, 公民	国語	外国語 (筆記)	外国語 (リスニング)	理科	数学	数学
発表予定 時間	13:20 以降	16:10 以降		18:20 以降	13:20 以降	16:05 以降	

() 志願者数, 受験した者の人数, 受験しなかった者の人数をお知らせします。

7 問題冊子及び科目別正解の発表

- (1) 問題冊子は、各試験時間終了後に各試験場で配付します。
- (2) 正解及び配点は、試験終了後、大学入試センターにおいて、大学入試センターのホームページを通じて発表します。

平成25年度大学入試センター試験の主な変更点

1 問題冊子について

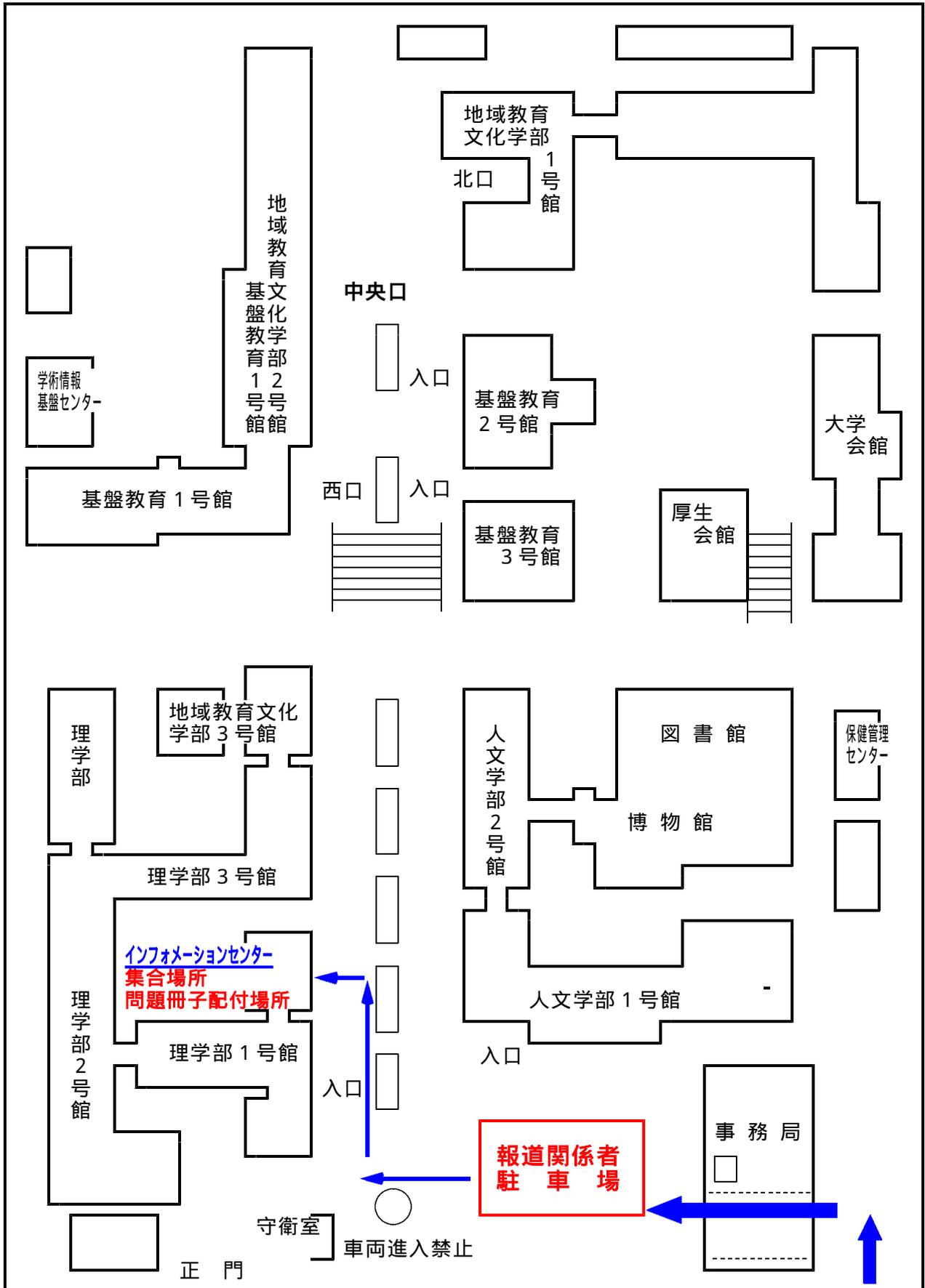
地理歴史及び公民の問題冊子は、全ての受験者にパッケージ化された「地理歴史と公民の2冊」を配付します。

2 監督要領の改善について

試験の進行については、これまで監督者の口頭による指示が中心でしたが、今年度は、口頭説明の一部を問題冊子の表紙等に記載することにより、受験者自身が指示文を読み、確認する方式が導入されます。

なお、「地理歴史、公民」及び「理科」については、問題冊子等の配付、受験者への指示等を慌てることなく、ゆとりを持って確実にこなせる時間を確保するため、解答開始前の説明時間が5分延長されます。

小白川地区試験場駐車場配置図



車の出入りはできません。

プレス通知資料（概要）

平成 25 年 1 月 8 日
山 形 大 学

1. 理学部物質生命化学科 亀田恭男教授、溶液化学研究会学術賞を受賞

山形大学理学部物質生命化学科亀田恭男教授は、早稲田大学西早稲田キャンパスで 11 月 12～14 日に開催された第 35 回溶液化学シンポジウムにおいて、研究題目「中性子回折および偏光 Raman 分光法による複雑な溶液系の構造決定」における顕著な業績を認められ、溶液化学研究会（会長：富永敏弘）より学術賞を授与されました。

受賞に際し、賞状、記念楯を受けるとともに、学術賞受賞講演を行いました。

〔詳しくは、別添の資料をご覧ください〕

2. つばさプロジェクトシンポジウム「東日本広域「FDネットワーク」つばさ」の新たな挑戦」の開催

文部科学省の平成 24 年度「大学間連携共同教育推進事業」に、「FDネットワーク」つばさ」のプロジェクト「東日本広域の大学間連携による教育の質保証・向上システムの構築」が採択され、山形大学を中心に、19 の大学等、14 の自治体等が連携して動き出しました。

本シンポジウムは、基調講演のほか地域と連携した特色ある授業や学生の活動等について、情報交換をしていきます。

日時：平成 25 年 1 月 26 日（土）13:00～17:00

会場：山形大学理学部 S401 教室（山形市小白川町 1-4-12）

内容：1 基調講演 13:10～13:50

2 話題提供 13:50～15:10

3 パネルディスカッション 15:20～17:00

4 情報交換会 17:00～19:00

5 参加費：無料（情報交換会のみ、会費 4,000 円）

〔詳しくは、別添の資料をご覧ください〕

3. 大学コンソーシアムやまがた「やまがた夜話」1月の開催案内

「大学コンソーシアムやまがた」では、山形と映画 ～ 映像から見る山形のこれまで、これから～をテーマに、皆様へわかりやすいお話しをしていただいています。

日 時: 各回とも18:30～19:30まで

1月18日(金) ドキュメンタリーって何だ?ドキュメンタリーの原点「極北のナヌーク」上映
山形国際ドキュメンタリー映画祭事務局

1月23日(水) 映像で見る山形のこれまで 山形の記録映像の上映
加藤 到 氏(東北芸術工科大学 教授)

1月30日(水) 映像から見るこれからの東北、そして山形 東日本大震災関連映画上映
高橋 卓也 氏(山形国際ドキュメンタリー映画祭 事務局長)

会 場: ゆうキャンパス・ステーション (山形市:山形むらきさわビル1階)

対 象: 高校生・学生・一般市民

定 員: 50名(参加費は無料)

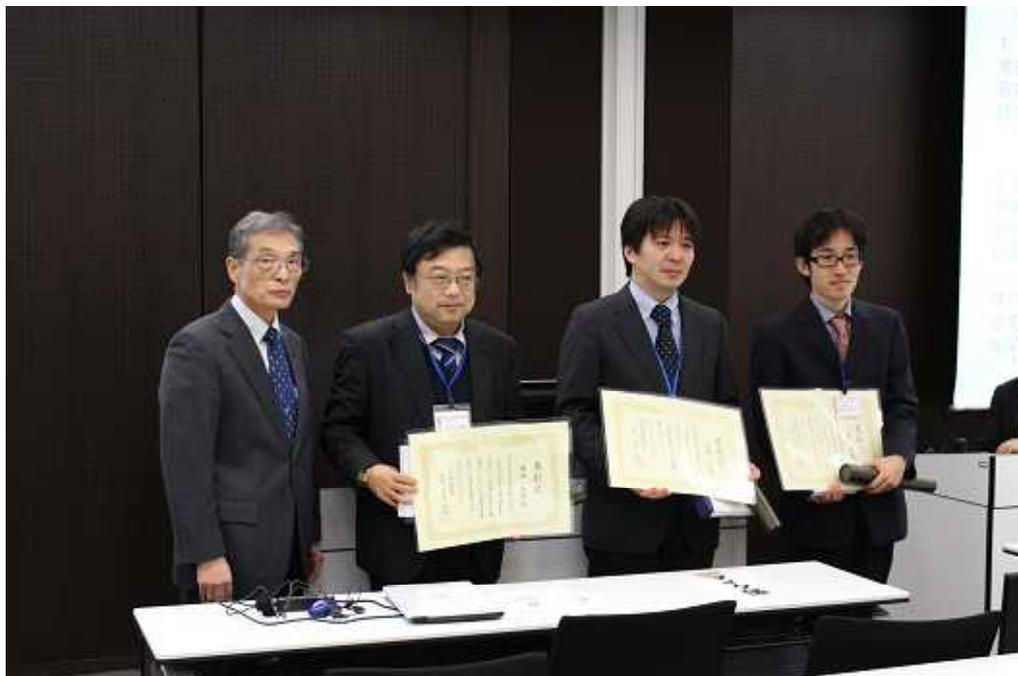
〔詳しくは、別添の資料をご覧ください〕

平成25年1月8日
山形大学

理学部物質生命化学科 亀田恭男教授、溶液化学研究会学術賞を受賞

山形大学理学部物質生命化学科亀田恭男教授は、早稲田大学西早稲田キャンパスで11月12～14日に開催された第35回溶液化学シンポジウムにおいて、研究題目「中性子回折および偏光Raman分光法による複雑な溶液系の構造決定」における顕著な業績を認められ、溶液化学研究会（会長：富永敏弘）より学術賞を授与されました。

受賞に際し、賞状、記念楯を受けるとともに、学術賞受賞講演を行いました。



第35回溶液化学シンポジウム（早稲田大学）授賞式にて。左より富永敏弘会長、亀田恭男（学術賞）、神崎亮（奨励賞）、横川大輔（奨励賞）。

（お問合せ先）

山形大学理学部
物質生命化学科
亀田恭男

電話

023-628-4581

「東日本広域の大学間連携による教育の質保証・向上システムの構築」プロジェクト

シンポジウム

東日本広域「FDネットワーク“つばさ”」の新たな挑戦

— 大学と地域の連携による現地体験宿泊型授業の広域展開を中心として —



FD NETWORK TSUBASA PROJECT

Innovation on Higher Education in East Japan



日時

平成25年 **1月26日(土)** 13:00~17:00
(受付12:30~)

会場

山形大学 理学部 S401教室
(山形市小白川町1-4-12)

第1部 基調講演

「“つばさ”プロジェクトの概要」

● “つばさ”プロジェクト 運営協議会委員長 山形大学教育開発連携支援センター 小田 隆治 教授

第2部 「大学と地域の連携による『大地連携ワークショップ』を目指して」

「アイヌ文化と大学教育
—ウレシパ・プロジェクトを例に—」

● 札幌大学 本田 優子 副学長

「学生一人ひとりの『卒業成長値』を高める
地域の知的資源の交流拠点(ハブ)づくり」

● 東京家政学院大学 現代生活学部 上村 協子 教授

「学生による地域連携活動とキャリアデザイン教育の模索
～ボランティア活動からプロジェクト型演習へ～」

● 日本女子大学 人間社会学部 久東 光代 准教授

「山村過疎地域に大学生がやってくる!
—教養科目『フィールドワーク—共生の森もがみ』—」

● 山形大学 基盤教育院 杉原 真晃 准教授

連携校・連携機関

北海道／【連携校】札幌大学、北翔大学、札幌大学女子短期大学部、北翔大学短期大学部 【連携機関】北海道教育委員会、釧路市、平取町、NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構
東北／【連携校】山形大学、会津大学、青森中央学院大学、石巻専修大学、東北芸術工科大学、東日本国際大学、青森中央短期大学、羽陽学園短期大学、いわき短期大学
【連携機関】新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村(山形県)
関東／【連携校】明海大学、国際武道大学、了徳寺大学、東京家政学院大学、東京造形大学、日本女子大学 【連携機関】川崎市、相模原市(神奈川県)

東日本広域「FDネットワーク“つばさ”」の新たな挑戦

大学と地域の連携による現地体験宿泊型授業の広域展開を中心として

■ 日時：平成25年1月26日(土)

13:00～17:00 (受付12:30～)

■ 会場：山形大学理学部 S401教室

(山形市小白川町1-4-12)

【趣 旨】

文部科学省の平成24年度「大学間連携共同教育推進事業」に、「FDネットワーク“つばさ”」のプロジェクト「東日本広域の大学間連携による教育の質保証・向上システムの構築」(通称、「つばさ」プロジェクト)が採択されました。本プロジェクトは、学生の自己学習力と社会人基礎力の育成を目的とし、大学間連携FD/SD/IRによって教育改善を進め、学生主体型授業やフィールドワークを地域の人たちと連携して推進していく取組です。本プロジェクトには、19の大学等、14の自治体等が連携し、いま動き出しました。

本シンポジウムは、第一部の基調講演で“つばさ”プロジェクトの概要をお話します。第二部のパネルディスカッションでは、地域と連携した特色ある授業や学生の活動について、“つばさ”プロジェクトの連携校である札幌大学・東京家政学院大学・日本女子大学・山形大学から話題提供をいただき、その後、フロアのみなさまと情報交換をしていきます。

多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

ACCESS MAP



司会／山形大学 理学部 栗山 恭直 教授

開会の挨拶

13:00～13:10

山形大学 結城 章夫 学長

第1部 基調講演

13:10～13:50

「“つばさ”プロジェクトの概要」

“つばさ”プロジェクト 運営協議会委員長

山形大学教育開発連携支援センター 小田 隆治 教授

第2部 「大学と地域の連携による『大地連携ワークショップ』を目指して」

13:50～17:00

【話題提供／13:50～15:10】

「アイヌ文化と大学教育—ウレシパ・プロジェクトを例に—」

札幌大学 本田 優子 副学長

「学生一人ひとりの『卒業成長値』を高める

地域の知的資源の交流拠点(ハブ)づくり」

東京家政学院大学 現代生活学部 上村 協子 教授

「学生による地域連携活動とキャリアデザイン教育の模索

～ボランティア活動からプロジェクト型演習へ～」

日本女子大学 人間社会学部 久東 光代 准教授

「山村過疎地域に大学生がやってくる!

—教養科目『フィールドワーク—共生の森もがみ—」

山形大学 基盤教育院 杉原 真晃 准教授

【パネルディスカッション／15:20～17:00】

座 長／山形大学 理学部

栗山 恭直 教授

パネリスト／札幌大学

本田 優子 副学長

東京家政学院大学 現代生活学部

上村 協子 教授

日本女子大学 人間社会学部

久東 光代 准教授

山形大学 基盤教育院

杉原 真晃 准教授

閉会

17:00

情報交換会

※学内の厚生会館にて行います

17:00～19:00

<参加申込み方法>

申込み期限／平成25年1月16日(水)

氏名、所属機関(部局)、住所、電話番号、E-mailアドレス、情報交換会(会費4,000円)への参加の有無を明記し、下記のいずれかの方法でお申込み下さい。

FAX 023-628-4720

E-mail k3cen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

FDネットワーク“つばさ”プロジェクト

お問合せ先

FDネットワーク“つばさ”プロジェクト代表校 山形大学教育開発連携支援センター
〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 TEL:023-628-4480 FAX:023-628-4720
E-mail:k3cen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

参加申込書	[氏 名]	[所属機関(部局)]
	[住 所] 〒	[電話番号]
	[E-mail]	
	[情報交換会の参加希望]	有(会費4,000円) ・ 無



やまがた夜話

テーマ 山形と映画

～ 映像から見る山形のこれまで、これから ～

1月はドキュメンタリー上映とお話です。

1月18日(金) ドキュメンタリーって何だ？
18:30～19:30 ドキュメンタリーの原点「極北のナヌーク」上映
山形国際ドキュメンタリー映画祭事務局

1月23日(水) 映像で見る山形のこれまで
18:30～19:30 山形の記録映像の上映
加藤 到 氏 (東北芸術工科大学 教授)

1月30日(水) 映像から見るこれからの東北、そして山形
18:30～19:30 東日本大震災関連映画上映
高橋 卓也 氏 (山形国際ドキュメンタリー映画祭 事務局長)

会場 ゆうキャンパス・ステーション
(山形むらきさわビル1階)

アクセス 山形駅東口より徒歩1分

対象 高校生・学生・一般市民
入場無料 定員:50名

お申し込み 電話又はチラシ裏面の参加
申込書に必要事項を記入の
上Fax, 郵送、メール等でお
申し込みください。



主催

お申込み・お問合せ



大学コンソーシアムやまがた

大学コンソーシアムやまがた

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階
TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820
E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



FAX:023-628-4820

大学コンソーシアムやまがた事務局 行き

やまがた夜話に参加申込みをします。

必要事項を明記の上、FAX・郵送またはE-mailにてお申込ください。

申込締切日:それぞれの夜話前日までにお申込をお願いいたします。

参加日	参加希望日に☑、又は日付を○で囲んでください。 <input type="checkbox"/> 平成25年1月18日(金) ドキュメンタリー上映 <input type="checkbox"/> 平成25年1月23日(水) 講師: 加藤 到 氏 <input type="checkbox"/> 平成25年1月30日(水) 講師: 高橋 卓也 氏
住所	〒
氏名	
連絡先	TEL
	E-mail
所属	

受講申込者が多数の場合は、お手数ですが参加申込書をコピーしてご利用ください。

この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に使用すると共に、参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

【お申込み・お問合せ先】

大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらさきさわビル1階

TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp